

社会科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい社会					
	3 3 1	3 3 2	5 3 1	5 3 2	6 3 1	6 3 2
取 扱 内 容	<p>○ 地域社会に関する内容については、地域の文化財や年中行事を受け継いでいる人々について調べたり、史料館を利用して地域の用水路について調べたりする学習活動を取り上げており、地域社会に対する誇りと愛情を育てることができるようになっている。</p> <p>○ 我が国の国土と産業に関する内容については、北方領土などの日本の国土の様子を地図で調べたり、地域医療や教育で利用されている情報ネットワークについて調べたりする学習活動などを取り上げており、国土に対する愛情や社会の情報化についての関心を深めることができるようになっている。</p> <p>○ 我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容については、茶の湯を体験して室町文化の特色をレポートにまとめたり、地球の環境問題と持続可能な社会について調べたりする学習活動などを取り上げており、我が国の歴史や伝統を大切に、世界の人々と共に生きていくことについて考えることができるようになっている。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各学年において「まなび方コーナー」を設け、「見る・聞く・ふれる」などの知識・技能を活用する活動が位置付けられている。具体的には、第3,4学年ではごみの処理と利用の学習の中で「カードにまとめて発表する」、第5学年では米づくりの学習の中で「米づくりについて提案する」、第6学年では明治の国づくりの学習の中で「明治維新の人物関係図をつくる」などが取り扱われている。</p>					
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成については、地域の発展に尽くした先人の具体的事例として、開発と教育などの事例を取り上げ、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるなどのように配慮されている。</p> <p>○ 内容の排列については、第6学年の「わたしたちの生活と政治」の学習において、人々の願いを実現する市の政治の働きについて学習した後、国の政治の仕組みや日本国憲法の働きへと視点が広がっていくように工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量については総ページ数で、第3,4学年が16パーセント増、第5学年が20パーセント増、第6学年が16パーセント増となっている。</p>					
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 大規模な農業を行っている十勝地方の事例を掲載するとともに、アイヌの人々の文化を紹介するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>○ 第6学年では、自分たちにできる政治参加について考える活動を設定するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 目次に「見る・聞く・ふれる」、「読み取る」などの学び方のコラムを示すなど、使用上の便宜が図られている。</p>					
そ の 他	<p>○ 第5学年「日本の国土の広がり」と領土」では、北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を地図中に示し、日本固有の領土であることが明記されている。</p>					

社会科調査研究報告書

書 名 観 点	教育出版 小学社会 3 3 3 3 3 4 5 3 3 5 3 4 6 3 3 6 3 4
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会に関する内容については、地域に伝わる祭りなどの年中行事を受け継いでいる人々について調べたり、古い地図から地域の新田開発について調べたりする学習活動を取り上げており、地域社会に対する誇りと愛情を育てることができるようになっている。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、北方領土などの日本の国土の様子を地図で調べたり、地域の医療や福祉で利用されている情報ネットワークについて調べたりする学習活動を取り上げており、国土に対する愛情や社会の情報化についての関心を深めることができるようになっている。 ○ 我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容については、茶の湯や生け花などを通して室町文化と現在の暮らしのつながりを考えたり、科学や技術、社会の在り方や暮らしから、持続可能な社会について調べたりする学習活動を取り上げており、我が国の歴史や伝統を大切に、世界の人々と共に生きていくことについて考えることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各学年において「まとめる」「ふかめる」などの知識・技能を活用する活動が位置付けられている。具体的には、第3,4学年では県の地形や産業にかかわる学習の後に「県の特徴を生かしたパンフレット作り」、第5学年では食料生産の学習を基に「食料生産に関する新聞づくり」、第6学年では歴史学習の後に「歴史上の人物や出来事から学んだことへの意見文」などが取り扱われている。
内 容 の 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について、開発、教育などの事例を取り上げ、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第6学年の「世界の中の日本」では、韓国・アメリカ・中国・サウジアラビアの事例を取り上げ、児童の興味・関心に応じて内容を選択できるように工夫されている。 ○ 内容の分量については総ページ数で、第3,4学年で5パーセント減、第5学年が3パーセント減、6学年で5パーセント増となっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土の周りで漁業を行っている根室市の事例や、アイヌの人々の歴史や文化について掲載するなど、児童の意欲が高まるように工夫されている。 ○ 第6学年では、現代社会の課題と自分とのかかわりについてまとめる活動を設定するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 巻頭に学習の進め方や教科書の活用の仕方、巻末に学習した内容をまとめた日本地図を示すなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年「わたしたちの暮らしと国土」では、北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を地図中に示し、日本固有の領土であることが明記されている。

社会科調査研究報告書

書名 観点	<p style="text-align: center;">光村図書 社会</p> <p style="text-align: center;">3 3 5 3 3 6 5 3 5 6 3 5</p>
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会に関する内容については、地域に伝わる郷土の芸能を受け継いでいる人々について調べたり、昔の人たちの治水工事について調べたりする学習活動を取り上げており、地域社会に対する誇りと愛情を育てることができるようになっている。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、北方領土などの日本の国土の様子を地図で調べたり、地域の医療や防災で利用されている情報ネットワークについて調べたりする学習活動を取り上げており、国土に対する愛情や社会の情報化について関心を深めることができるようになっている。 ○ 我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容については、茶の湯や水墨画などの室町文化を体験して感想を交流したり、世界各国が協力して行う支援活動について調べたりする活動などが取り上げており、我が国の歴史や伝統を大切に、世界の人々と共に生きていくことについて考えることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各単元の終末に「まとめる・広げる」などの知識・技能を活用する活動が位置付けられている。具体的には、第3,4学年では「行ってみたい県への旅行計画書の作成及び発表」、第5学年では「10年後の自動車の企画書の作成と見学でお世話になった自動車工場の人への送付」、第6学年では「開国から明治期に活躍した人たちの人物事典の作成」などが取り扱われている。
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、地域の発展に尽くした先人の具体的事例として、開発と教育などの事例を取り上げ、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第6学年の「みんなの願いと政治の働き」において、人々の願いを実現する市の政治の動きについて学習した後、国の政治へと視点が広がっていくように工夫されている。 ○ 内容の分量については総ページ数で、第3,4学年が9パーセント減、第5学年が2パーセント増、第6学年が4パーセント増となっている。
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年で旭川市のお家のつくり、第6学年でアイヌの人々との交易について掲載するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 第6学年では、世界で起きている問題に対する意見文を書く活動を設定するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 巻頭の「教科書をヒントに学習を進めよう」で教科書の活用方法を示すなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年「日本の国土」では、北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を地図中に示し、日本固有の領土であることが明記されている。

社会科調査研究報告書

書名 観点	日本文教出版 小学社会 3 3 7 3 3 8 5 3 7 5 3 8 6 3 7 6 3 8
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域社会に関する内容については、地域に伝わる祭りを受け継いでいる人々について調べたり、郷土資料館を利用して堤防や港の建設など地域の開発に尽くした人々について調べたりする学習活動を取り上げており、地域社会に対する誇りと愛情を育てることができるようになっている。 ○ 我が国の国土と産業に関する内容については、北方領土などの日本の国土の様子を地図で調べたり、地域の医療や防災で利用されている情報ネットワークについて調べたりする学習活動を取り上げており、国土に対する愛情や社会の情報化についての関心を深めることができるようになっている。 ○ 我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容については、能の体験を通して室町文化と現在の暮らしのつながりを考えたり、地球の環境問題と国連の働きについて調べたりする学習活動を取り上げており、我が国の歴史や伝統を大切に、世界の人々と共に生きていくことについて考えることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、単元の最後に「ふりかえってみよう」などの知識・技能を活用する活動が位置付けられている。具体的には、第3,4学年では「安全な暮らしを守る」において校区の安全マップ作り、第5学年では「工業生産とわたしたちの暮らし」において自分の考えを発表する活動、第6学年では「天下統一と江戸幕府」において4人の武将が作り出した社会の仕組みについて図にまとめる活動などが取り扱われている。
内容 の排 構列 成・ 分量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について、開発、環境保全などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように配慮されている。 ○ 内容の排列については、第6学年の「日本とつながりの深い国々」について、韓国、中国、アメリカ、ブラジルなどの事例を取り上げ、取り扱う内容を選択できるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、総ページ数で、第3,4学年が前回同様、第5学年が12パーセント増、第6学年が16パーセント増となっている。
使用 上 の配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然保護に関する知床半島や釧路湿原の事例や、アイヌの人々の歴史や文化を掲載するなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 第6学年では、自分や学校生活と憲法との関係を考える活動を設定するなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「キーワード」や「考えるヒント」などの、言葉の説明や学習のヒントが掲載されているなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年「日本の国土と人々の暮らし」では、北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を地図中に示し、日本固有の領土であることが明記されている。